

平成29年度 経営発達支援事業報告と評価

評価基準

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
- B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
- C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
- D : 目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)
- E : 未実施

1. 地域の経済動向に関する調査

・・・評価 **B**

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 企業景況調査	4回	4回	4回		B
(対象企業追加)	○	○	○		
(振興委員ヒアリング)	年4回	年2回	年4回	・2回実施	
(当所HP掲載)	○	○	○		
(調査項目追加)	○	○	○	・日商と共通とした	
(行政との情報交換)	○	×	○	・実施せず	
(2) 賃金調査 (2年に一回)	○	○	-		A
〃 (項目追加)	○	○	-	・2年に1回	
〃 (当所HP掲載)	○	○	-		
(3) 経営課題状況調査	○	×	-	実施せず	E

2. 経営状況の分析

・・・評価 **A**

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 広報PR活動	○	○	○	・事業承継PRチラシ 配布(1回)	A
(2) 簡易経営分析ツールの作成	○	-	○	・H28作成済	A
(3) 専門家を活用した経営分析	○	○	○	・各種制度を活用 NICOカフェ、7回 ミラサポ5回	A
(4) 経営分析実施数等					B
巡回訪問相談件数	1,190件	893件	1,200件	・指導員による巡回	
マル経融資利用者に対する 経営分析	10	5	10	・日本政策金融公庫へ 提出	
決算指導先からの経営分析 セミナー参加者に対する 経営分析	12 10	10 4	15 15	・分析ツールを活用 ・小規模事業者持続化 補助金申請支援	

3. 事業計画策定支援

・・・評価 B

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 経営戦略・経営計画策定 セミナー参加事業者数	20	34	20	・3/22 事業承継セミナーを開催	A
(2) 創業者に対する策定支援 数	5	5	5	・指導員による対応	A
(3) マル経融資利用者に対する 策定支援	8	5	8	・日本政策金融公庫に 提出	B
(4) 決算指導先からの経営分 析に対する策定支援	10	2	10	・指導員による対応	D
(5) セミナー参加者に対する 策定支援	12	4	12	・小規模事業者持続化 補助金申請支援	C

4. 事業計画策定後の実施支援

・・・評価 C

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 経営指導員による定期的 な巡回	○	△	○	・必要に応じ実施	C
(2) 支援施策の情報提供	○	○	○	・各種資料を持参	B
(3) 専門的な課題解決に向け た対応	○	○	○	・各種制度を活用 NICOカフェ、	B
(4) 金融斡旋	○	○	○	・個別相談会の開催	A
(5) フォローアップ数等					C
経営戦略・経営計画策定セミナー 参加事業者数	20	34	20	・事業承継セミナー	
マル経融資利用者に対するフォ ロワーアップ事業所数	8	5	8		
決算指導先からの経営分析実施 者に対するフォローアップ事業 所数	10	2	10	・指導員による対応	
セミナー参加者に対するフォロ ーアップ事業所数	10	1	12		
創業者に対するフォローアップ 事業所数	10	2	5		

5. 需要動向調査

・・・評価 C

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 新潟県消費動向調査の 活用分析	○	×	○	・実施せず	E
(2) 十日町フェアでのアンケ ート回収	600	×	600	・前年度実施済	E
(3) 十日町織物産地特別招 待会でのアンケート回収数	300	315	300	・産業フェスタで特産 品アンケート実施	A

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

・・・評価 B

内 容	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	備 考	評価
(1) 十日町フェアでの地場産品コーナーへの出品事業者数	10	15	10	・クロスステンによる地場産コーナー展開	A
(2) 十日町織物産地特招会での体験ツアー設定事業所数	10	5	10	・流通事業者による工場見学、酒蔵見学	C
(3) まちゼミ					C
まちゼミ参加事業所数	30	22	30		
まちゼミ受講者数	400	277	450	・6月、11月に開催	
(4) 火焰型土器の活用支援件数	5	10	5	・日商全国展開支援事業を実施	A

7. 地域経済の活性化に資する取組

・・・評価 C

項 目	備 考	評価
(1) 中心市街地活性化基本計画に基づく賑わい創出のためのイベントの開催	・花いっぱい事業の実施 ・NPOにぎわいの事業支援	A
(2) 生誕地まつりでの経済波及効果の向上	・お買い物マップの作成 ・クーポン券事業は実施せず	B
(3) 産業フェスタの開催	・39団体 174社の参加 ・ステージイベントで企業PRコーナーを実施 ・十菓町スイーツコーナー設置による菓子製造業者のPR ・まちの産業発見塾モデル事業の開催 28事業所、団体、市内中学校4校	A
(4) 十日町雪まつり等を通じた交流人口の増加等による地域活性化	・JR十日町駅東口公園での広場開設。 ・魚沼産コシヒカリの1合パックの配布 ・地場産品PRチラシの作成配布は実施せず。	B
(5) 大地の芸術祭を活用した商品の開発と販売	・実施せず	-
(6) 冬季スポーツ（ノルディックスキー）の大会誘致による経済波及効果の創出	・実施せず	-
(7) 十日町共通お土産用紙袋の制作	・実施せず	E

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの等の情報交換に関すること・・・

評価 B

項 目	備 考	評価
(1) 新潟県よろず支援拠点連絡会議	・新潟県よろず支援拠点連絡会議 研修会に参加	A
(2) 新潟県中小企業支援プラットフォーム	・同上	A
(3) 新潟県商工会議所連合会における支援会議	・県連主催の専務理事会議、事務局長会議、 相談所運営会議等に参加	A

(4) 中越地区指導業務連絡会議	・9/5 中越地区指導業務連絡会議・金融研修会に参加	A
(5) 創業支援連絡会議	・実施せず	E
(6) 市内商工会・商工会議所小規模事業者支援連絡協議会	・11/20 税務連絡協議会として開催	B

9. 経営指導員等の支援能力の向上の仕組み

・・・評価 **B**

項目	備考	評価
(1) 新潟県商工会議所連合会が主催する研修会への参加	・県連主催の各種研修会に、経営指導員等が参加	A
(2) 中越地区指導業務連絡協議会での研修	・9/5 中越地区指導業務連絡会議・金融研修会に参加	A
(3) 中小企業大学のセミナーへの参加	・参加せず	E
(4) 専門家との帯同訪問、相談	・経営計画策定個別相談会に経営指導員が同席し、専門家とともに支援 ・ミラサポ専門家派遣に指導員が同行	A

10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

・・・評価 **C**

項目	備考	評価
(1) 所内への支援スキルの蓄積と共有化		C
支援事例・手法のデータベース化	・業者と意見交換を検討中	
グループウェアを活用した支援情報の共有化	・業者と意見交換を実施	
(2) 支援体制の充実	・経営支援会議は毎月の指導員会議として実施 ・一般職員を含めた職員研修を2回開催	B

○評価委員会での意見等

- ・各事業とも概ね成果を挙げていると評価できる。
- ・十日町産地特別招待会や十日町フェア、火焰型土器を活用した特産品の開発等、地域資源の活用も進んでいる。
- ・NICOの専門家による個別相談の実績は、県内でも魚沼地域を含めた当地域の利用が多い。NICO 今後も定期的な相談会の開催を続けてゆく方針。
- ・マル経融資の実績が増加している。マル経融資の際に経営計画の策定を合わせて実施し、実績を増やしてほしい。
- ・市や関係機関と連携することで更に実績が上がる事業があるので会議所単体での事業実施だけでなく、関係機関との連携事業を増やしてほしい。
- ・事業承継について、県でも商工会議所や商工会、NICO等の支援機関でネットワーク化を図り、事業展開していく予定である。各地会議所の更なる連携をお願いしたい。
- ・個別事業所の計画策定やフォローは、金融公庫のスタッフとの帯同訪問などを実施してはどうか。
- ・今後の方向性として、展示・商談会等の出展支援など、地域外への販路拡大や売上増進につながるような支援を強化してゆく。